

## 近世文化展示室 守屋壽コレクション「長崎とオランダ・中国」展示資料一覧

第40回：令和7年8月22日（金）～10月19日（日）

No.	資料名	形状	時代・時期	説明
1	長崎図（市中絵巻）	卷子	江戸時代 18世紀頃	唐人屋敷が建設される元禄2年（1689）以前の長崎の町並を懐古的に描いた作品。 コレクションNo.748
2	肥前長崎図	額装	享和元年（1801）	唐人屋敷が建設された後の長崎を描いた木版図。 コレクションNo.369
3	饗宴の図	一紙	江戸時代 18～19世紀	唐人屋敷内の宴会の様子を紹介した長崎版画。 コレクションNo.701
4	蛇踊囃方	一紙	江戸時代 18～19世紀	毎年正月15日に唐人屋敷で行われた蛇踊りの楽隊を描いた長崎版画。 コレクションNo.702
5	出島之景	額装	1832年以降	シーボルトの『日本』に掲載された、長崎湾の眺望を描いた風景画。 コレクションNo.155
6	阿蘭陀船図	軸装	江戸時代末期	船の大きさや構造などの情報が書き加えたオランダ船図。 コレクションNo.457
7	オランダ人饗宴の図	折本	江戸時代 18～19世紀	長崎版画を集めた「画套」のうち、出島でのオランダ人の食事の様子を描いたもの。 コレクションNo.609
8	阿蘭陀人饗宴図版木	版木	江戸時代 18～19世紀	No.7の長崎版画とほぼ同図の版木。 コレクションNo.658
9	オランダ商館長江戸参府	額装	1727年初版	ケンペルの『日本誌』に掲載された、元禄4年（1691）のオランダ商館長一行の江戸参府の行列を描いた図。 コレクションNo.150
10	地球図	額装	寛政5年頃 （1793）	オランダ商館医ステッツェルの持参図を基に、司馬江漢が製作した国内初の銅版世界地図。 コレクションNo.230
11	解体新書	冊子	安永3年 （1774）	ドイツ人クルムスの解剖書『ターヘル・アナトミア』のオランダ語版の翻訳書。 コレクションNo.403
12	蛮語箋	冊子	寛政10年成立 （1798）	『解体新書』の20年余り後に成立した、オランダ語の単語と簡単な会話を掲載した小辞典。 コレクションNo.593
13	紅毛雑話	冊子	天明7年 （1787）	蘭学医・桂川甫周が集めたオランダの情報を、弟の森島中良がまとめた書物。 コレクションNo.592
14	長崎土産	冊子	弘化4年 （1847）	長崎に関する名所・名物を、豊富なイラストや文章で紹介した観光案内書。 コレクションNo.418
15	日本帝国図	額装	1715年	オランダ人東洋学者のレランドが、石川流宣の「日本海山潮陸図」を基に製作した銅版の日本地図。 コレクションNo.95
16	日本帝国図	額装	1727年	17世紀末にオランダ商館医として来日したケンペルが、帰国後に「新撰大日本図鑑」などを基に製作した日本地図。 コレクションNo.98